

## 一般動詞 否定文

be 動詞を使った否定文では、am / are / is の後ろに “not” をつけましたが、一般動詞を使った文では “do” “does” を使います。この “do” “does” の後に “not” を置いて否定文を作ります。

### “do” を使った否定文

主語(S)が I / You / We / They などの文章の否定文は、動詞の前に “do not” または短縮形の “don’t” をおきます。

例)

肯定文 I know him. (私は彼を知っています。)

否定文 I do not (don't) know him. (私は彼を知りません。)

肯定文 They speak English. (彼らは英語を話します。)

否定文 They do not (don't) speak English. (彼らは英語を話しません。)

### “does” を使った否定文

主語(S)が3人称単数(He / She / It など)の文章の否定文は、動詞の前に “does not” または短縮形の “doesn’t” をおきます。

ここで注意しなくてはならないのが、肯定文の動詞についている「3単現の“s”」をはずし、動詞を原形にもどすということです。

例)

肯定文 She likes to swim. (彼女は泳ぐのが好きです。)

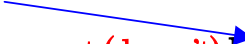


例)

肯定文 She like to swim. (彼女は泳ぐのが好きです。)

否定文 She **does not (doesn't)** like to swim. (彼女は泳ぐのが好きではありません。)

肯定文 Sam **has** a car. (サムは車を持っています。)

否定文 Sam **does not (doesn't)**  **have** a car. (サムは車を持っていません。)

- \* 主語が Sam や Ken and his mother などの場合は、それらを代名詞に置き換えて考えます。